

定員管理計画（改定案）【概要版】

1 定員管理計画

- ・ 行財政改革推進計画（R1-R9）に合わせて定員管理計画を改定
- ・ 計画期間：令和2年4月1日から令和6年4月1日まで 5年間
- ・ 計画職員数：H31.4.1時点職員数 2,596人 ⇒ R6.4.1 2,581人
毎年度▲3を計画 「計画達成」

改定

【改定案】

- ・ 定年年齢の段階的な引き上げに合わせた職員数
- ・ 社会環境変化に対応した行政運営と働きやすい職場環境整備の推進
- ・ 行財政改革推進計画の終期に合わせた令和9年度までの計画期間
⇒ 計画期間：令和6年4月1日から令和10年4月1日まで 4年間

2 現在の定員管理計画（R1-R5）

定員管理計画	H31.4.1	R2.4.1	R3.4.1	R4.4.1	R5.4.1	R6.4.1
職員数	2,598	2,595	2,592	2,589	2,586	2,583
対前年増減		▲3	▲3	▲3	▲3	▲3
増減累計		▲3	▲6	▲9	▲12	▲15
増減率（累計）（%）		▲0.1	▲0.3	▲0.4	▲0.5	▲0.7
●職員数の推移						
職員数	2,596	2,586	2,587	2,574	2,575	※2,574
増減累計		▲10	▲9	▲22	▲21	▲22

（※定年延長制度に伴う高齢期職員（61歳正規職員：36人）を含まない）

計画達成

【定年延長への対応】

- ・ 計画策定時点では定年延長制度の詳細が不明だったため、定年延長による影響を考慮していない。

3 定員管理計画（改定案）の課題と考え方

① 定年年齢引き上げへの対応

令和5年度から定年年齢が2年に1歳ずつ65歳まで引き上げとなるが、将来的な年齢別職員構成の偏在回避のため一定数の職員採用を継続する。

② 社会環境変化への対応

地方分権の推進・国の制度改革、少子高齢化社会の到来等、社会状況の変化により高度・多様化する行政需要に対し、効率的な組織体制を構築するとともに、効果的・重点的に職員を配置する。

③ 働きやすい職場環境整備の推進

長時間労働の是正や育児休業の取得しやすい環境の整備など、職員のワーク・ライフ・バランスの推進を図る。

4 定員管理計画（改定案）（R6-R9）

(1) 年次計画

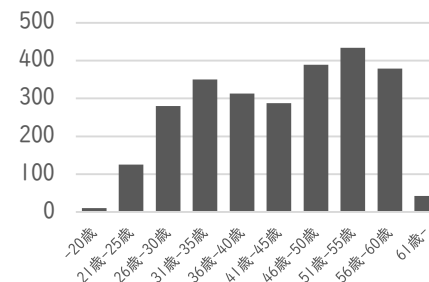
定員管理計画	R6.4.1	R7.4.1	R8.4.1	R9.4.1	R10.4.1
職員数	2,610	2,660	2,710	2,760	2,810
（61歳以上職員数見込み）	42	86	164	195	272
対前年増減		50	50	50	50
増減累計		50	100	150	200
増減率（累計）（%）		1.9	3.8	5.7	7.7

(2) 主な増減要素

増員減員の要素

- ・ 定年年齢の引き上げに伴う高齢期職員の増加と、将来に向けた年齢偏在回避のための採用継続
- ・ 社会環境変化への対応及び重点施策の充実の対応のための効果的・重点的な職員配置
- ・ 消防局の体制充実。救急需要の増加及び現場実務に従事する若手消防吏員の確保
- ・ デジタル化による事務の効率化 など

・ 職員の年齢構成（R6.4.1時点）



・ 定年年齢の引き上げ

年度	定年年齢	R6年度末時点の年齢			
		61	60	59	58
R6	61	61	60	59	58
R7	62	再任用	61	60	59
R8	63	再任用	62	61	60
R9	63	再任用	再任用	62	61
R10	63	再任用	再任用	63	62